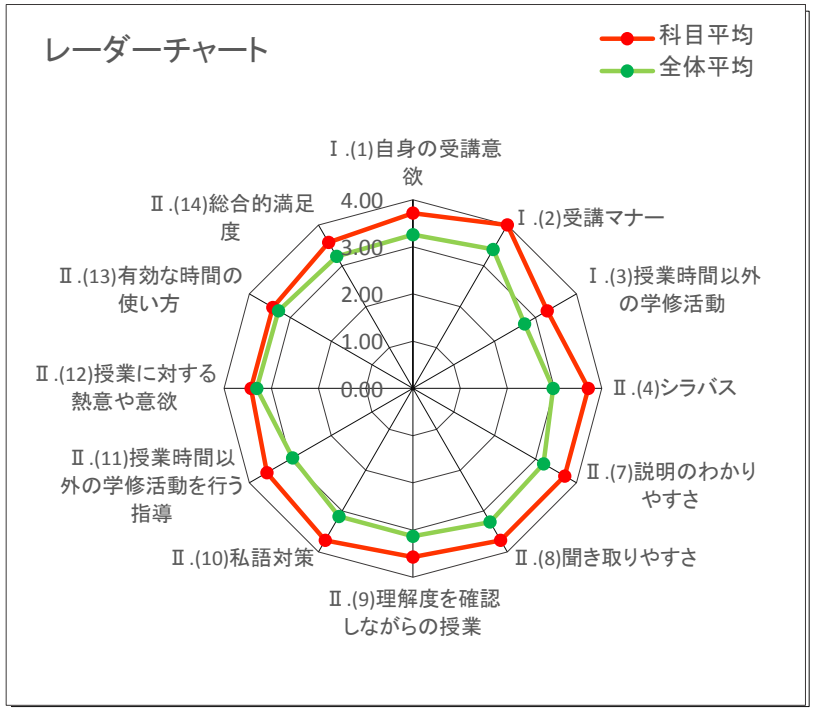
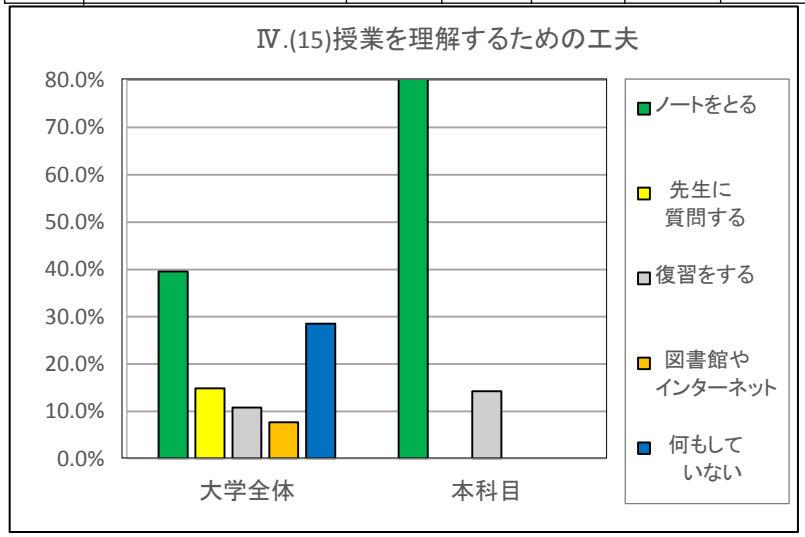
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.71	3.26
	Ⅰ.(2)	4.00	3.40
	Ⅰ.(3)	3.29	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.71	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.71	3.20
	Ⅱ.(8)	3.71	3.27
	Ⅱ.(9)	3.57	3.13
	Ⅱ.(10)	3.71	3.13
	Ⅱ.(11)	3.57	2.94
	Ⅱ.(12)	3.43	3.31
	Ⅱ.(13)	3.43	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.57	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	100.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.67	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.61	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.57	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	11311
科目名	企業と法律Ⅰ
教員名	

①授業計画の達成度について

予習復習できるように授業計画にしたがい順番に講義している。各回の始めに、特定のテーマに関する問題を示してこれに解答する方式で講義を進めているので、答案作成に向けた勉強をすることができる。もちろん制度趣旨、法律の運用を理解することが目標である。授業の始めにQ&A形式の基本的な小問題5問程度を解答させることがある。判例も紹介し興味ある面白い授業であり、難易度的には解かりやすい授業である。

②授業の進め方について

教室は人数に対して適切な広さであった。大きな声で明瞭に発音し講義する。私語をする者はほとんどない。熱心に問題に取り組む様子がうかがえる。この科目に興味持っているようである。毎回、同じようなテンポであるが、むしろ勉強の理解に弾みがつくような調子である。学生の満足度も全体として良いということができる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

例年、同じ方法で授業をしているが、予習してくる学生は少ないようであり、受身の姿勢である。Q&A形式の課題等を出すことがあり、学生たちは一応それに対して解答を用意しているようであった。ノートを熱心に取る学生が目立った。授業を理解するための工夫にそれしかないが、高い数値で表れている。

奈良学園大学